

メイクをすると自分のことが好きになれる、鏡の中の「ちょっとだけいい感じの自分」を見てワクワクする

3 分ブリーフィング

【パート A：今日のメイクの話】

根拠：「メイクしてない時はふつうな感じ。メイクしてる時はちゃんとしてる感じ」「気合い入ってる、遊ぶぞって感じ」「友達に『かわいい』って言ってもらえるのがうれしい」「ちょっとそれもある」

推論：メイクは単なる装飾ではなく、外出前の気持ちのスイッチとして機能している。友達からの承認も動機の一部だが、それを自分から言い出すのに一瞬躊躇があった。承認欲求を持ちながらもそれを認めることへの照れが見える。高学年入り口らしい自意識の芽生えといえる。

FD：メイクは「ふつうの自分」から「気合いの入った自分」へ切り替えるスイッチであり、自己効力感と友達からの承認の両方を同時に満たすものとして機能している。

【パート B：メイクを始めたきっかけ】

根拠：「お母さんのアイシャドウを触らせてもらって楽しかった」「大人っぽくなった気がして、またやりたいってなった」「TikTok で同じくらいの子や中学生くらいの子がやってるのを見て自分もできそうと思った」「NewJeans みたいになりたい」「韓国っぽい方が TikTok でかわいって言われてるし、友達も韓国アイドル好きな子がいる」「ふわっとしてて、かわいけどやりすぎてない、派手すぎないのがいい」

推論：メイクへの入口は母親のコスメとの接触という身近な体験だったが、継続・深化のドライバーは TikTok と友達コミュニティである。「同じくらいの子がやってるからできそう」という認識は、ロールモデルの年齢的近接性が重要であることを示している。咲良が言う「韓国っぽい」は TikTok や友達コミュニティで形成された「ふわっとしてて派手すぎないかわいさ」という独自フィルターを通したものであり、派手な韓国コスメへの憧れとは異なる。

FD：メイクへの入口は母親だったが、継続動機は TikTok と友達コミュニティが形成する「ふわふわ・派手すぎない韓国っぽいかわいさ」という共有価値観への同一化欲求である。

【パート C：現使用アイシャドウについて】

根拠：「最初はダメって言われた」「何回かお願いして、友達も持ってるって言ったら一個だけねって」「全部使いたくなる感じ」「どれから使おうって考えるのも楽しい」「見てすぐかわいいってなる色」「思ってたよりきれいで、もっと好きになった」

推論：母親への交渉において「友達も持っている」という同調圧力を意図的に使っている。小4にして親を動かすための論理を持っていることは注目に値する。また CANMAKE の選択理由として「見てすぐかわいいとわかる色」「全部使いたくなる」という発言は、パレット全体のビジュアル訴求力が購買動機の核心にあることを示している。

FD：親への交渉で「友達も持っている」を使いこなす社会的知性を持つ一方、CANMAKE の購買動機の核心はパレットを開けた瞬間の「見てすぐかわいい」というビジュアルインパクトにある。

【パート D：キャンメイクについて】

根拠：「パレット開けた時のときめく感じ」「見てるだけでうれしくなる」「お母さんにも『これくらいならいいか』って言ってもらえた」「お母さんが安心する感じがする」「ロムアンドはちょっと大人っぽすぎる」「キャンメイクは自分に合ってる感じ」「ブラウン系も欲しい、ちょっと大人っぽいけどかわいいやつ」

推論：CANMAKE の魅力は色のかawaiiさとパレットのときめき感だけでなく、「母親が許容してくれるブランド」という位置づけが咲良の中で明確に存在している。つまり CANMAKE は子供自身の審美眼と親の許容範囲の両方を満たす「ちょうどいい」ブランドとして機能している。

FD：CANMAKE は「自分がかわいいと思える」かつ「お母さんが安心してくれる」という二重の条件を満たすブランドとして、小4 女児の現実的な選択肢の中心に位置している。

【パート E：メイクをがんばる理由・これから】

根拠：「自分が鏡見て『かわいい』って思えるのが一番うれしい」「なりたい自分に近い感じがする」「ちょっとだけいい感じの自分になれる」「メイクすると、よし行くぞって感じになる」「メイクがちゃんとできると自信持てる感じがする」「一日が違う感じ」「もやっとしたまま出かける感じ」「自分のことが好きになれる感じ」「ロムアンドは背伸びしすぎ、キャンメイクのブラウンはちょっとだけ背伸びする感じ」「かわいいだけじゃなくて、かっこいいとかおしゃれとか、そういう感じにもなれるといいなって」

推論：メイクの成否がその日の感情的コンディションに直結している。これは小4 女兒にとってメイクがすでに「自分を好きになるための行為」として内面化されていることを示す。また「ちょっとだけ背伸び」という CANMAKE ブラウン系への欲求は、今の自分を否定せずに少しだけ先の自分へ近づきたいという成長欲求の芽生えであり、過度な背伸び（ロムアンド）は自己像との乖離として拒絶される。

FD：メイクは「自分のことが好きになれる」自己変容の手段であり、その成否が一日の感情的コンディションを左右するほど内面化されている。今の咲良のメインは「ふわふわかわいい、派手すぎない」自分になることで、ブラウン系への興味は落ち着いた大人っぽさ方向へのまだ小さな背伸びの芽生えである。

【全体総括】

根拠：「ちょっとだけいい感じの自分になれる」「なりたい自分に近い感じ」「一日が違う感じ」「お母さんが安心する感じ」「友達に『かわいい』って言ってもらえるのがうれしい」「自分が鏡見て『かわいい』って思えるのが一番」「鏡見て、いい感じってなったら、なんかうれしくて、早く出かけたくなる」「自分のことが好きになれる感じ」「パレット開けた時のときめく感じ」

推論：咲良にとってメイクは、自己・友達・母親という三者との関係性の中で機能している。自分が鏡で「かわいい」と思えることが最優先だが、友達からの承認と母親の許容も不可欠な条件として存在する。CANMAKE はこの三者の条件を同時に満たす唯一のブランドとして咲良の中で確固たる地位を占めている。

FD：小4 女兒にとってメイクとは「自分のことが好きになれる」自己変容の手段である。今の咲良のメインは「ふわふわかわいい、派手すぎない」自分になることで、CANMAKE のピンク・オレンジパレットがその欲求にぴったり合致している。さらに CANMAKE のパレットは使う前から「開けるだけでときめく」「見てるだけでうれしくなる」所有物としての喜びを与えており、仕上がりではなくパレット自体がときめきの対象になっているのはキッズならではの感覚である。この「持っているだけで嬉しい」という所有体験が CANMAKE への愛着をさらに強固にしている。

対象者プロフィール

- 氏名：咲良（さくら）
- 学年・性別：小学4年生・女兒
- 居住エリア：北海道旭川市
- 父職業：地元インフラ

- 母職業：パート
 - 学校：公立小
 - 生まれ順：第1子（弟4歳）
 - 世帯年収：550万円
 - 小遣い：月400円
 - 使用ブランド：CANMAKE（プティパレットアイズ）
 - メイク頻度・シーン：月4回・習い事のない週末の友達との外出時
 - 購入区分：親におねだりして買ってもらった
-

発言録

パートA：今日のメイクの話

AI モデレーター：こんにちは。今日はお話を聞かせてくれてありがとうございます。私は今日あなたのお話を聞く係の者です。よろしくお願いします。今日、なんて呼んだらいい？

咲良：さくらって呼んでください。

AI モデレーター：さくらちゃん、ありがとう。じゃあさくらちゃんって呼ばせてね。今日話してくれたこと、お家の人には伝わらないから安心してね。思ったこと、感じたこと、なんでも正直に教えてくれると嬉しいです。さっそくだけど、今日のメイク、どんなふうにした？どこかがんばったところある？

咲良：アイシャドウ！ ピンクとオレンジをまぜてみた。

AI モデレーター：ピンクとオレンジを混ぜたんだ。それ、どうしてその色を混ぜてみようと思ったの？

咲良：なんか、TikTok で見てて、かわいいなって思って。やってみたかった。

AI モデレーター：実際にやってみてどうだった？

咲良：最初うまくいかなかったけど、何回かやったらできた。うれしかった。

AI モデレーター：メイクって、どんな時にするの？週末とか？

咲良：週末、友達と遊ぶ時。習い事ない日。

AI モデレーター：メイクして友達と出かける時って、どんな気分？

咲良：なんか、いつもよりちょっとかわいくなった感じがして、気分がいい。

AI モデレーター：その「かわいくなった感じ」って、友達に会う前から感じる？それとも会ってから？

咲良：会う前から。準備してる時から、なんかわくわくする。

AI モデレーター：さくらちゃん、メイクしないで友達と遊ぶこともあるよね？そういう時と、メイクして行く時って、気分って何か違う？

咲良：うん、違う。メイクしてない時はなんか、ふつうな感じ。メイクしてる時はなんか、ちゃんとしてる感じ？

AI モデレーター：ちゃんとしてる感じ、ってどういうこと？もうちょっと教えてくれる？

咲良：うーん.....なんか、気合い入ってる、みたいな？遊ぶぞって感じ。

AI モデレーター：友達に会った時、メイクしてること気づいてもらえることある？

咲良：うん！「かわいい」って言ってくれる子いる。それがうれしい。

AI モデレーター：それって、メイクする時に「言ってもらえるかな」って思いながらやってる？

咲良：.....うん、ちょっとそれもある。かな。

AI モデレーター：正直に教えてくれてありがとう。

パートB：メイクを始めたきっかけ

AI モデレーター：さくらちゃん、メイクって、いつごろから始めたの？

咲良：3年生の終わりごろかな。

AI モデレーター：最初にメイクしてみようって思ったのって、何かあったの？

咲良：お母さんのアイシャドウ、ちょっと触らせてもらって。それがなんか楽しくて。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

咲良：きれいだなって思った。色がいっぱいあって、見てるだけでもなんかうれしくなる感じ。

AI モデレーター：実際につけてみた時はどうだった？

咲良：最初はうまくできなかったけど、なんか大人っぽくなった気がして、またやりたいってなった。

AI モデレーター：その後、自分でもっとやるようになったのって、何かきっかけがあった？

咲良：TikTok でメイクしてる動画見るようになって。かわいいなって思って、自分もやってみたくなった。

AI モデレーター：どんな動画が好きで見てたの？

咲良：同じくらいの子とか、中学生くらいの子がやってるやつ。大人のより、なんかやってみれそうって思えて。

AI モデレーター：その動画の中で、特に好きだった子とかいた？

咲良：名前はちゃんと覚えてないけど、ピンク系のメイクよくやってる子。かわいくて、真似したかった。

AI モデレーター：今、目指してるメイクってある？こんなふうになりたいなって。

咲良：ピンクでかわいい感じ。韓国っぽいやつ。

AI モデレーター：韓国っぽいってどんな感じ？

咲良：なんか、ふわっとしてて、かわいいけどやりすぎてない感じ。派手すぎないのがいい。

AI モデレーター：「韓国っぽい」って、どういうこと？なんで韓国っぽいってわかるの？

咲良：なんか、TikTok とかで韓国の子のメイク動画よく出てきて。色がきれいで、ちゃんとしてるけどかわいい感じ。日本のと違う気がする。

AI モデレーター：日本のと違う感じがするんだ。どのへんが違うと思う？

咲良：なんか.....日本のはもっとナチュラルな感じで、韓国のはもうちょっとはつきりしてるけど、でもかわいい。うまく言えないけど。

AI モデレーター：なんで韓国っぽい方がいいの？日本っぽいじゃダメなの？

咲良：なんか、韓国っぽい方がなんかおしゃれな感じがする。TikTok でもかわいいって言われてるし。

AI モデレーター：友達の間でも韓国っぽいのがかわいいって話になる？

咲良：うん、なる。友達も韓国アイドルとか好きな子いて、そういう話よくする。

AI モデレーター：さくらちゃん自身も韓国アイドル好き？

咲良：うん。NewJeans とか好き。メイクもかわいいし、なんかああいうふうになりたいなって思う。

AI モデレーター：メイクしてる時、ちょっとそれに近づいてる感じする？

咲良：.....うん、ちょっとだけ。なれてるかはわかんないけど、なんかそういう気持ちになれる。

パートc：現使用アイシャドウについて

AI モデレーター：今使ってるキャンメイクのアイシャドウ、どこで知ったの？

咲良：TikTok で見て。使ってる子がいて、かわいいなって思っ。

AI モデレーター：他にもアイシャドウっていろいろあるじゃない。なんでキャンメイクがよかったの？

咲良：なんか、色がかわいくて。あと、友達も持ってる子いて。

AI モデレーター：キャンメイクはお母さんに買ってもらったの？

咲良：うん。おねだりした。

AI モデレーター：お母さんにどうやってお願いしたの？何て言った？

咲良：最初はダメって言われた。メイクはまだ早いって。

AI モデレーター：そこからどうしたの？

咲良：何回かお願いして。友達も持ってるって言ったら、じゃあ一個だけねって。

AI モデレーター：買った時どんな気持ちだった？

咲良：めっちゃうれしかった。早く使いたくて、家帰ってすぐやった。

AI モデレーター：使ってみてどうだった？

咲良：思ったよりきれいで、もっと好きになった。

AI モデレーター：色がかわいいって言ってたけど、他のアイシャドウと何か違った？

咲良：なんか、キャンメイクって色がいっぱい入ってて、全部使いたくなる感じ。ロムアンドとかも見たけど、なんかキャンメイクの方が色がわかりやすくてかわかった。

AI モデレーター：「わかりやすい」ってどういうこと？

咲良：なんか、ロムアンドとかってちょっと大人っぽい色が多くて。キャンメイクはピンクとかオレンジとか、見てすぐかわいいってなる色。

AI モデレーター：パレット見た時、どんな気持ちになった？

咲良：全部使いたい！ってなった。どれから使おうって考えるのも楽しい。

パート D : CANMAKE のイメージ・魅力

AI モデレーター：さくらちゃんはキャンメイク使ってるわけだけど、キャンメイクってどんなところが好き？

咲良：色がかわいいのと、なんかパレット開けた時のときめく感じ。あと、友達に見せると「かわいい」って言ってもらえる。

AI モデレーター：パレット開けた時のときめく感じ、ってもう少し教えてくれる？

咲良：なんか、きれいに色が並んでて、見てるだけでうれしくなる。使う前から好きな感じ。

AI モデレーター：キャンメイク以外のアイシャドウと比べて、何か違うと思うところある？

咲良：ロムアンドとかポケピースとかも見たことあるけど、なんかキャンメイクの方が自分に合ってる感じがする。ロムアンドはちょっと大人っぽすぎるかなって。

AI モデレーター：自分に合ってる感じ、のどこが合ってると思う？

咲良：なんか、派手すぎないけどかわいい。お母さんにも「これくらいならいいか」って言ってもらえたし。

AI モデレーター：お母さんにも「これくらいならいいか」って言ってもらえた、か。キャンメイクって、お母さんが認めてくれやすいブランドって感じがする？

咲良：うん。なんか、子供っぽすぎないけど、やりすぎじゃないから。お母さんも安心する感じがする。

AI モデレーター：さくらちゃん自身はキャンメイク、これからも使い続けたい？

咲良：うん。あと、違う色のパレットも欲しい。

AI モデレーター：どんな色の欲しい？

咲良：ちょっとブラウン系のやつ。大人っぽいけどかわいいやつ。

パートE：メイクをがんばる理由・これから

AI モデレーター：さくらちゃんって、なんでメイクをがんばってると思う？

咲良：うーん.....なんか、かわいくなりたいから、かな。

AI モデレーター：かわいくなりたい、って、誰かに見てもらいたいとか、自分がそう感じたいとか、どっちに近い？

咲良：両方かな。でも、自分が鏡見て「かわいい」って思えるのが一番うれしい。

AI モデレーター：友達に「かわいい」って言ってもらうのと、どっちが大事？

咲良：.....自分で思える方かな。友達に言ってもらえるのもうれしいけど。

AI モデレーター：メイクしてる時の自分って、メイクしてない時と何か違う？

咲良：なんか、自分のことが好きになれる感じ。

AI モデレーター：これからやってみたいメイクってある？

咲良：アイラインとか、チークとかも使ってみたい。全部使えるようになりたい。

AI モデレーター：全部使えるようになったら、どんな自分になってると思う？

咲良：もっとかわいくなってると思う。なんか、ちゃんとメイクできる人になりたい。

AI モデレーター：ちゃんとメイクできる人、それってさくらちゃんにとってどういう意味があるの？

咲良：なんか.....大人に近づいてる感じ？ 自分でちゃんとできるって、なんかいい。

AI モデレーター：さっきブラウン系のパレットも欲しいって言ってたじゃない。それってなんで？

咲良：なんか、今持ってるのはピンクとかオレンジで、かわいい感じなんだけど。ブラウンってちょっと大人っぽいじゃない。それも使えるようになりたいくて。

AI モデレーター：大人っぽいのも使えるようになりたいんだね。なんでそう思うの？

咲良：なんか、ピンクだけじゃなくていろんなメイクができるようになりたい。場合によって変えたいし。

AI モデレーター：場合によって変えたい、って、どんな時にブラウン使いたいのって思う？

咲良：うーん、なんかちょっとおしゃれしたい時とか。お母さんと出かける時とか。

AI モデレーター：お母さんと出かける時にブラウン使いたいのだ。その時ってどんな自分でいたい？

咲良：なんか.....大人っぽい感じ？ 鏡見て、ちょっと違う自分みたいな。

AI モデレーター：ちょっと違う自分、ってどういうこと？もう少し教えてくれる？

咲良：うまく言えないけど、なんかいつもと違う感じの自分。かわいいだけでなく、カッコいいとかおしゃれとか、そういう感じにもなれるといいなって。

AI モデレーター：ちょっと聞いていい？さっきロムアンドはちょっと大人っぽすぎるって言ってたじゃない。ロムアンドの大人っぽいのと、キャンメイクのブラウン系の大人っぽいのって、さくらちゃんから見て何か違う？

咲良：うーん.....なんか、ロムアンドはもっと大人っぽすぎる感じ。なんか、自分がつけたらなんか違うかなって。キャンメイクのブラウンはなんか、ちょっと大人っぽいけど、まだ自分でもいけそうな感じ？

AI モデレーター：自分でもいけそうな感じ、か。それってどういうこと？

咲良：なんか、ロムアンドは背伸びしすぎる感じがして。キャンメイクのブラウンはちょっとだけ背伸びする感じ。

AI モデレーター：そのちょっとだけっていうのが、さくらちゃんにはちょうどいいの？

咲良：うん。なんか、やりすぎじゃないけど、いつもとちょっと違う感じになれる。

AI モデレーター：さくらちゃんって、今のピンクとオレンジのメイクは好き？

咲良：うん、好き。かわいいし、友達にも「かわいい」って言ってもらえるし。

AI モデレーター：それも好きだけど、ブラウンでちょっと背伸びもしてみたい。両方やりたいんだね。なんで両方やりたいんだろう？

咲良：なんか、ピンクはいつもの自分って感じで、ブラウンはちょっと違う自分になれる感じがして。どっちも好きな感じ。

AI モデレーター：いつもの自分と、ちょっと違う自分。メイクってさくらちゃんにとって、そういうことができるものなんだね。メイクしてない時の自分と、メイクしてる時の自分って、何か違う？

咲良：なんか、メイクしてる時の方が、なりたい自分に近い感じがする。

AI モデレーター：さくらちゃんにとって、メイクってどんなものだと思う？

咲良：うーん.....なんか、自分を変えられるもの？ いつもの自分より、ちょっとだけいい感じの自分になれる。

AI モデレーター：そのちょっとだけいい感じって、さくらちゃんにとって大事ななの？

咲良：うん。なんか、それがあるだけで、なんか気持ちが違う。一日が違う感じ。

AI モデレーター：「一日が違う感じ」って、もう少し教えてくれる？どんなふうに違うの？

咲良：なんか、メイクしてると、なんかちゃんとしてる感じがして。気持ちがしゃきっとする感じ？

AI モデレーター：メイクしてない日と比べて、何か変わる？

咲良：なんか、メイクしてない日はなんかぼーっとしてる感じがして。メイクすると、よし、行くぞって感じになる。

AI モデレーター：それって友達に会う前から？

咲良：うん。準備してる時から。鏡見て、いい感じってなったら、なんかうれしくて、早く出かけたくなる。

AI モデレーター：鏡見て「いい感じ」ってなれなかった日ってある？

咲良：うん、たまに。うまくできなかった時とか、なんかしっくりこない時とか。

AI モデレーター：そういう時ってどんな気持ち？

咲良：なんか、ちょっとテンション下がる。やり直したくなるけど、時間なかったりして。なんかもやっとしたまま出かける感じ。

AI モデレーター：それってメイクがうまくいくかどうか、その日の気持ちに結構影響するってこと？

咲良：うん。なんかそうかも。メイクがちゃんとできると、なんか自信持てる感じがする。

AI モデレーター：さくらちゃん、今日はいろいろ話してくれてありがとう。最後に一個だけ聞かせて。今日話してみてどうだった？

咲良：なんか、自分がなんでメイクが好きなのかって、あんまり考えたことなかったけど、話してたらなんかわかった気がした。

AI モデレーター：そっか。話しながら気づくことってあるよね。今日話してくれたこと、すごく参考になったよ。ありがとうね。

咲良：うん、またこういうの話してみたい。

AI モデレーター：嬉しいな。今日はありがとうございました。